

2022 年 10 月 19 日

BMW グループ、米国での電気自動車生産に 17 億ドル (USD) を投資すると発表：スパータンバーグ工場へのバッテリー・セルの供給で Envision AESC 社と合意

**Envision AESC 社は、サウスカロライナ州に新しいバッテリー・セル工場を建設し、米国での電気自動車生産に向けて新しい円筒形リチウムイオン・セルを供給
米国での電気自動車の生産に備え、スパータンバーグ工場に 10 億ドルを新たに投資
2030 年までに少なくとも 6 車種の電気自動車モデルを米国で生産予定
さらに 7 億ドルを投じてサウスカロライナ州ウッドラフに新しい高電圧バッテリー組立施設を建設し、同州における BMW グループの製造拠点を拡大**

スパータンバーグ (米国) ノミュンヘン発： BMW グループは、スパータンバーグ工場と米国での生産拠点を拡大するために新たな投資を行い、エレクトロモビリティ計画の展開を継続する。BMW AG 取締役会長オリバー・ツィプセは、米国事業に 17 億ドルを投資すると発表した。その内訳は、サウスカロライナ州にある既存の米国生産施設での電気自動車の生産に対応するための 10 億ドルと、同州ウッドラフ近郊に新しい高電圧バッテリー組立施設を建設するための 7 億ドルである。BMW グループは、2030 年までに少なくとも 6 車種の電気自動車モデルを米国で生産する。

本日、ツィプセは、スパータンバーグ工場にサウスカロライナ州のヘンリー・マクマスター (Henry McMaster) 知事、ハリー・ライツィ (Harry Lightsey III) 同州商務長官、スパータンバーグ郡議会経済開発委員会のデイヴィッド・ブリット (David Britt) 議長、ウッドラフ市のケニス・ジスト (Kenneth Gist) 市長らを迎えるとともに、同州に新工場を建設する Envision AESC 社から次世代のリチウムイオン・バッテリー・セルの供給を受ける合意についても発表した。

「スパータンバーグ工場は、数十年にわたり、BMW グループの世界的な成功の基礎となってきました。ここは、世界中で大人気の BMW X モデルの故郷です。これからは、電動化戦略の主要な推進力ともなり、2030 年までに少なくとも 6 車種の完全電気駆動の BMW X モデルがここで生産される予定です。すなわち、「X の故郷」は「電気自動車の故郷」にもなるのです。さらに私たちは、BMW グループの「local for local」(現地のことは現地で) の原則を示すことができます。次世代の電気自動車用に特別に設計された新開発の第 6 世代バッテリー・セルは、X が電動化されるここサウスカロライナ州で調達されることとなります」とツィプセは水曜日に述べた。

サウスカロライナ州の Envision AESC 社のバッテリー・セル工場がスパータンバーグ工場に供給

BMW グループは、「local for local」の原則に基づき、電気自動車用のバッテリー・セルを生産地で購入することを目指している。パートナーとなった Envision AESC 社は、サウスカロライナ州に新しいバッテリー・セル工場を建設し、スパータンバーグ工場に供給する予定である。Envision 社が生産する新開発の円筒形リチウムイオン・バッテリー・セルは、第 6 世代の BMW eDrive テクノロジー用に特別に設計されたもので、

次世代の電気自動車に使用される。バッテリー・セル工場の年間生産能力は、最大 30GWh になる。

この新しいバッテリー形式は、エネルギー密度を 20%以上増大させ、充電速度を最大 30%改善し、航続距離を最大 30%延ばすことができる。同時に、生産においてもリチウム、コバルト、ニッケルの二次材料や再生可能エネルギーを部分的に使用することで、セル生産に伴う CO₂排出量が最大 60%削減される。

Envision AESC 社との協力は、BMW グループの地域サプライ・チェーンを強化する計画における重要なステップである。電気自動車生産の拡大と現地のバッテリー・セル工場の組み合わせは、地域全体を通じて新しいサプライ・チェーン、サブサプライヤーの新しいネットワーク、そして新規雇用を生み出すことになる。

BMW グループは、次世代バッテリー・セルの需要に応えるため、さらに 4 つのバッテリー・セル工場を欧州と中国に建設することをすでに発表している。これらのセル工場はパートナー企業によって建設中で、それぞれ最大 20GWh の年間生産能力を有する。

サウスカロライナ州における投資の増加と生産能力の拡大

本日発表した 17 億ドルの新規投資のうち、7 億ドルは、スパータンバーグ工場に近いサウスカロライナ州ウッドラフに新しい高電圧バッテリー組立センターを建設するために使われる。この新施設は、100 万平方フィートの敷地面積を有し、電気自動車用の次世代バッテリーを生産する。現地では約 300 人の新規雇用が創出される。

現在、スパータンバーグ工場では、同工場製の 2 種類のプラグイン・ハイブリッド電気自動車である BMW X3 xDrive30e（複合モード燃費：2.6～2.0 リッター/100km（WLTP）、同電力消費量：20.5～18.9kWh/100km（WLTP）、同 CO₂ 排出量：59～45g/km（WLTP））および BMW X5 xDrive45e（複合モード燃費：1.7～1.2 リッター/100km（WLTP）、同電力消費量：27.7～24.3kWh/100km（WLTP）、同 CO₂ 排出量：39～27g/km（WLTP））向けにリチウムイオン・バッテリー・モジュールを生産している。2021 年には、約 7 万台の電動化された BMW が現地で生産された。スパータンバーグ工場の既存事業で培われた経験と専門知識は、ウッドラフ拠点の新施設でも活用される。

「BMW が、サウスカロライナ州に長く拠点を構えて影響力を及ぼしてきたことは、パートナーシップの力とわが州の自動車産業の成功に向けた共同の取り組みを実証しています。電気自動車生産のために 10 億ドルをかけてスパータンバーグ工場を拡張し、ウッドラフの新しいバッテリー・ユニット組立工場に 7 億ドルを投じるという本日の発表により、未来への道がここに開かれました。私は、BMW が率先して貢献していることを称賛します」とマクマスター知事は述べた。

BMW グループのスパータンバーグ工場

スパータンバーグ工場は 30 年前に設立され、その 2 年後に自動車の生産を開始した。以来、ここは、BMW スポーツ・アクティビティ・ビークルのグローバル・コンピテンス・センターとなり、グローバル生産ネットワークの重要な構成要素となっている。現時点で、同工場への投資総額は 120 億ドル近くにのぼり、1 万 1,000 人以上が雇用され、年間生産能力は最大 45 万台に達する。現在までに米国内で 600 万台以上の BMW 車が生産され、米国および世界市場へ出荷されてきた。この強みを基にして、BMW は過去 8 年間、金額ベースで米国最大の自動車輸出企業であり続けている。

現在、スパータンバーグ工場は、スポーツ・アクティビティ・ビークルの BMW X3、X4、X5、X6、X7、4

種類の BMW M モデル、および 2 種類のプラグイン・ハイブリッド・モデルからなる 11 モデルを生産している。今年中には、新型ハイブリッド・モデルの BMW XM（複合モード燃費：1.6～1.5 リッター/100km（WLTP）、同電力消費量：30.1～28.9kWh/100km（WLTP）、同 CO₂ 排出量：36～33g/km（WLTP）。いずれも正式に認定されていない暫定値）の生産が開始される予定である。

同工場は、米国内の 300 社以上のサプライヤーによって支えられており、その中にはサウスカロライナ州だけでも 40 社以上の一次サプライヤーが含まれる。

「これは、スパータンバーグ工場にとって非常に重要なステップです。私たちは、高品質の自動車を生産するという伝統を継続し、過去 30 年間にわたって成功を積み重ねてきました。今回の投資により、事業の将来性が保障され、当工場を電動化と新技術に対応させることができるので、当社の長期的成功とともに、サウスカロライナ州の魅力あふれる有望な雇用主としての地位も確実なものになります」と BMW マニュファクチャリング社のロバート・エンゲルホーン社長兼 CEO は述べている。

米国での継続的な取り組み

米国における BMW グループの拠点は、販売およびマーケティング事業に加え、12 州の約 30 拠点で構成されている。その中には、カリフォルニア州の先進的デザインスタジオ、技術研究開発センターおよびベンチャーキャピタルファンドや、BMW ファイナンシャル・サービス社、そしてサウスカロライナ州スパータンバーグ工場を運営する BMW マニュファクチャリング社などがある。BMW グループのディーラー・ネットワークは、全米で約 650 の BMW、MINI、ロールス・ロイスおよび BMW Motorrad の独立系ディーラーからなる。こうした米国における BMW グループの事業をすべて合わせると、直接的・間接的に米国内で 12 万人以上の雇用を提供して支えており、米国経済に 433 億ドルの貢献を果たしてきた。

「技術の開放性」と顧客志向の柔軟性

BMW グループは、持続可能な未来に明確に焦点を合わせ、気候目標と温室効果ガス排出量の削減に関する高い目標を米国内で共有している。同時に、全米各地で大きく異なる地理的要因の中で多様なニーズに応えるために、電気自動車、プラグイン・ハイブリッド、および高効率内燃機関の選択肢を顧客に提供すべく「技術の開放性」を進めている。BMW グループは、2030 年までに世界販売台数の 50% 以上を電気自動車にするという目標の達成に全力を注いでいる。

360 度アプローチ

BMW グループは、2030 年までに車両 1 台あたりの CO₂ 排出量を 40% 削減することも当初の目標に掲げている。BMW グループは、クライメート・ニュートラル化を目指して努力しており、自動車のライフサイクル全体を通じた CO₂ 排出量の削減に力を注いでいる。

- **設計とエンジニアリング**： BMW グループは、単に製品ポートフォリオを電動化するだけでなく、「二次材料を優先使用」するアプローチで車両開発の設計・エンジニアリング段階を開始することにより、今では BMW グループの車両に使用される材料の平均 30% 近くが、リサイクルまたは再利用されている。「二次材料を優先使用」するアプローチでは、長期的にこの数字を 50% に高めることを目指している。
- **サプライ・チェーンと調達**： BMW グループは、責任ある原材料採取の基準を策定し、鉱山の認証を通じて原材料採取の環境的および社会的基準の遵守を促進する取り組みに長年にわたって積極的に関与してきた。BMW の新世代バッテリー・セルの原材料に使われるコバルトとリチウムを認証鉱山から調達することで、採取方法の完全な透明性を保ち、責任ある採掘を保証することができる。
- **自動車生産**： BMW グループのグローバル生産ネットワークは、自動車の生産段階において、太陽光、

風力、水力などの再生可能エネルギーにも依存している。2021 年より、BMW グループのすべての生産拠点では、オフセットによるネット・カーボン・ニュートラルを実現している。

- **自動車の使用段階：** さらに BMW グループは、電気自動車を充電するための電力を生み出すやり方を持続可能なものにする取り組みも行っている。例えば、カリフォルニア州の酪農家とのパートナーシップでは、メタンガスを回収して再生可能エネルギーに変換し、電力網に供給することで温室効果ガス排出量を削減している。また、サンフランシスコのベイエリアでは、できる限り太陽光エネルギーで自家用車を充電できるようにする「ChargeForward」と呼ばれる試験的なプログラムを運営している。
- **車両のリサイクルと再利用：** BMW グループの車両は、当初からリサイクルを念頭に置いて設計されているので、部品のリサイクルや再利用の可能性を高めている。すでに高電圧バッテリーから 90% 以上の材料を回収できることを実証しており、使用済み車両をリサイクルするために全世界に約 3,000 カ所の回収拠点を設けている。

BMW グループは、電動化の未来を目指し続けながら、バリューチェーン全体にわたり自動車のライフサイクル全体を通じて持続可能なソリューションを提供できるように、自動車そのものの先を見据えている。米国において、BMW は現在、BMW iX スポーツ・アクティビティ・ビークルと BMW i4 グラン クーペの 2 種類のピュア EV を提供している。電気自動車の BMW i7 セダン（複合モード電力消費量：19.6～18.4kWh/100km（WLTP））は今年中に市場に投入され、BMW は大きな前進を遂げることになる。BMW グループのサステナビリティへの注力と電動化への独自の取り組みに関する詳細は：

<https://www.bmwgroup.com/en/sustainability.html> を参照。

CO2 排出量と電力消費量

BMW X3 xDrive30e：複合モード燃費：2.6～2.0 リッター/100km（WLTP）、同電力消費量：20.5～18.9kWh/100km（WLTP）、同 CO₂ 排出量：59～45g/km（WLTP）

BMW X5 xDrive45e：複合モード燃費：1.7～1.2 リッター/100km（WLTP）、同電力消費量：27.7～24.3kWh/100km（WLTP）、同 CO₂ 排出量：39～27g/km（WLTP）

BMW XM：複合モード燃費：1.6～1.5 リッター/100km（WLTP）、同電力消費量：30.1～28.9kWh/100km（WLTP）、同じ CO₂ 排出量：36～33g/km（WLTP）。いずれも正式に認定されていない暫定値。

BMW i7 セダン：複合モード電力消費量：19.6～18.4kWh/100km（WLTP）

本件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>